

# 旧植田家だより

KYU-UEDAKE INFORMATION

Vol. 46

2020年12月発行

特別・企画展

旧辻田家寄贈襖絵初公開

夏季企画展

夏の扇 ナツノウウギ

関西文化の日

植松灯籠の日と影絵

連載コラム

「落穂拾い - 今東光の薫風 - (四十)」



# 展示のご案内

冬季企画展

昔のくらしはエコなくらし

リユース(再使用)

リデュース(減量)

リサイクル(再利用)

江戸～昭和

ふろしき

い草かご

い草かご

本綿のぞうきん・はぎれ

ろうそく

さいほう前

お取手

おたんぼ

令和3年(2021)  
1月6日(水)～3月15日(月)

休館日: 火曜日(2月23日は閉館)、2月12日(金)・24日(水)

八尾市指定文化財(指定管理者:NPO法人HICALI)  
安中新田会所跡 旧植田家住宅  
〒701-0004 大阪府八尾市植田町1-1-25 <http://kyu-uedakejutsu.jp/>

- 冬季企画展「昔のくらしはエコなくらし」2021年1/6(水)～3/15(月)  
江戸時代から昭和時代までの昔の生活道具や知恵を通して、今のくらしとエコを考えます。
- 通常展「大和川付替えと植田家の收藏品:工芸品編」3/19(金)～4/25(日)  
「大和川付替えの歴史」と「旧植田家住宅の変遷」をパネルで紹介。收藏資料の一部(工芸品)も展示。

※休館日はP15をご覧ください

# Contents

- 4 特別・企画展  
旧辻田家寄贈襖絵初公開
- 6 教育コラボ演習・植田家レポート  
旧植田家住宅 ～昔の生活道具 篇～
- 7 イベント体験レポート  
教育コラボレーション演習のふりかえり
- 8 夏季企画展  
夏の扇 ナツノオウギ
- 10 四会所だより (26) 平野屋新田会所
- 11 日日植田家住宅 第3日: 去年の今頃は・・・
- 12 関西文化の日 植松灯籠の日と影絵
- 13 植ちょぴ
- 14 コラム「落穂拾い - 今東光の薫風 - (四十)」
- 15 旧植田家住宅のご案内



ギャラリーにて  
バックナンバー  
配架中※

※『旧植田家住宅だより』のバックナンバーはホームページからもダウンロードできます。  
<http://kyu-uedakejutaku.jp>

## 《旧辻田家寄贈襖絵》(八尾市)

平成30年(2018)、旧辻田家(植松町)より江戸時代から明治時代までの史資料およそ1,000点近くが八尾市に寄贈された。今回、特別・企画展として、襖絵をはじめ、資料の一部を初公開した。詳細は4・5頁を参照。

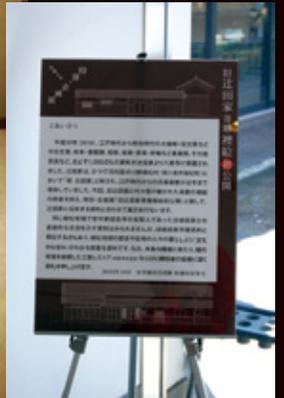
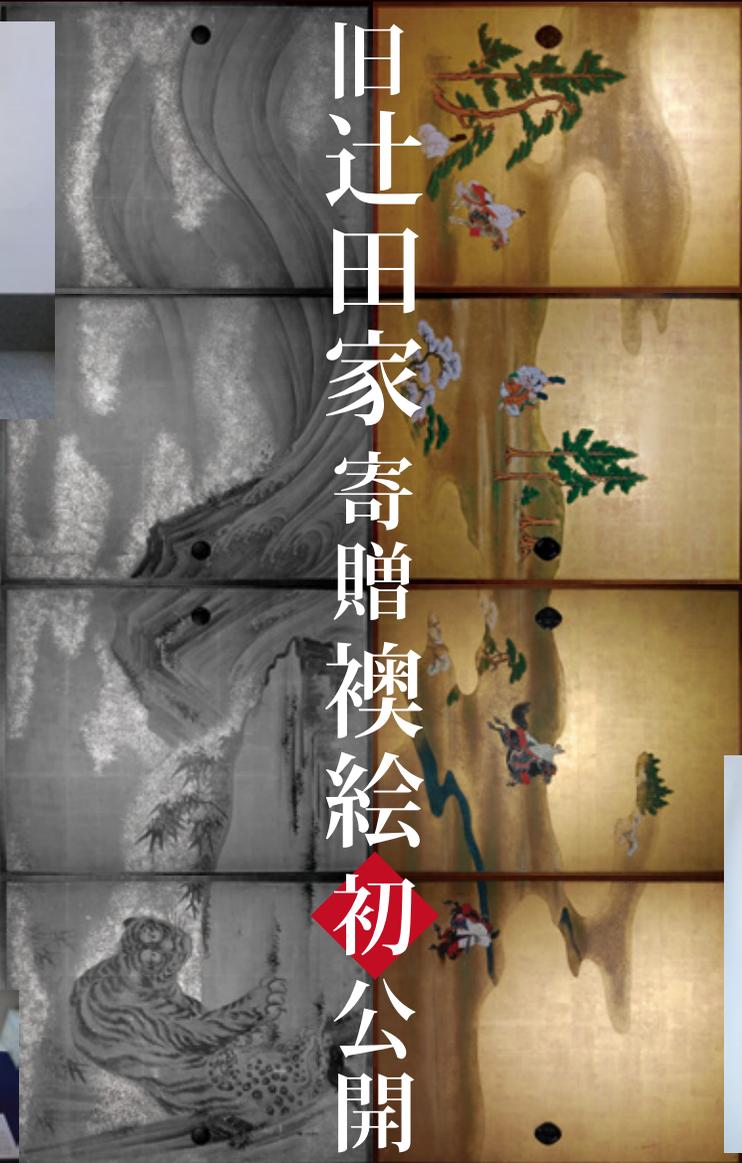


表紙写真

# 特別・企画展

## 旧辻田家寄贈襖絵初公開

令和2年10月24日(土)～12月25日(金)



特別・企画展

### 旧辻田家寄贈襖絵初公開

江戸～明治時代の大幅帳・証書類などの古文書、和本・書籍類、短冊、絵襖・屏風・掛軸など書画類、民具類、あわせて一〇〇〇点近くの資料が平成30年、辻田家より八尾市に寄贈された。辻田家は、かつて河内国渋川郡植松村（現八尾市植松町）において「西辻田家」と称された庄屋屋敷で、近年まで建物が現存した。今回は修復を終えたばかりの旧辻田家襖絵を、辻田家に伝存する資料と合わせて初公開する特別展を旧植田家住宅にて開催した。

#### 【展示資料】

本展では、襖絵2点(計12面分)と杉戸絵1点、民具類3点、古文書(地図)1点を展示室にて展示し、主屋では衝立と屏風各1点をそれぞれ再現展示した。

・襖絵「競馬図」／岩濤に虎図」江戸後期

両面とも源恭義(鷗汀)の作。表面は大和絵、裏面は狩野派の描法で描かれる。

・襖絵「竹林七賢図」江戸中期

大坂で狩野派を展開した絵師・吉村周山の作。裏面は金砂子がまかれ、南嶺の落款がある。



# 地域の歴史・文化を伝える

## 前期展示



源恭義《競馬(くらべうま)図》紙本著色・金箔・金砂子 145.5×176cm(1面)



源恭義《鶴図》杉戸絵



龍華村大字別戸数豊数取調地図



矢立と銭升

## 後期展示



源恭義《岩涛に虎図》絵襖、4面、紙本墨画・金砂子



文化財(襖絵)の修復動画  
(制作:工房レストア)  
※現在も旧植田家住宅  
ホームページにて公開中



## ～主屋にも屏風と衝立を展示～



碓南嶺《山水図》二曲屏風



碓南嶺《笹に小禽図》衝立



吉村周山《竹林七賢図》紙本墨画・金砂子 96×176cm(1面)

### ・杉戸絵「鶴図」松図」江戸後期

座敷襖絵と同じ源恭義の作。襖絵と同時期に制作されたと推測される。外廊下にあった。

旧辻田家の資料の中には、同じ植松地域にある旧植田家との直接的な交流を示すものはみられなかったが、植田家所蔵の資料との類似性があり、植松地域の歴史や往時の人々の暮らし(文化的な営み)がうかがえた。

(学芸員 安藤亮)

### 【特別展開連講演会、開催】

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、万全のコロナ対策を講じて、特別・企画展開連講演会を11月15日(日)に開催。講師の藤井淳弘氏(八尾市文化財課)には、マウスシールドの着用と透明のパーテーション越しでお話していただいた。講演は「八尾市の文化財と旧辻田家の文化財」をテーマに、地域にのこる文化財の発見と活用について詳細なデータが示されると参加者は熱心に耳を傾けた。またこの日は襖を修復した工房レストア制作の「修復動画」のお披露目もあり、初見で藤井氏に解説もしていただいた。



講演中の藤井氏

# 安中新田会所跡 旧植田家住宅

## ～昔の生活道具 篇～

### ・昔の勉強机とたばこ盆・<sup>きせる</sup>長煙管のセット

初めて見たときに、たばこ盆と長煙管が知らないので筆記用具だと思いました。スタッフの方から説明を聞いて分かりました。(王)



### ・風呂桶

見るとすぐに機能が分かる生活道具。今のバスタブと比べて、見た目に材料も中身の構造も非常に変わりました。(王)



### ・抹茶用石臼

石臼は昔の中国でも使われていたので、聞いたことがあります。しかし、抹茶用の石臼は日本限定かなあと思っています。(王)



### ・便器

今はもう使えないけれども、色とデザインから見れば当時の流行のスタイルがうかがえます。(王)



### ・(石炭・ガス) ストーブ

最初に見る際、鳥カゴだと思いましたが、ストーブでした。左右に石炭仕様とガス仕様のを並べてみると時代の変化を感じます。(張)

### ・火のし

中国のテレビドラマでしか見たことがないので、古い道具を目の前で見たり触ったりできるなんて不思議だと感じました。(張)



### ・タイプライター

タイプライターを見た瞬間、最初に思い浮かべたのは、京都アニメーションが制作した感動物語『バイオレット・エヴァーガーデン』でした。調べたところ、現代でもタイプライターの愛用者がいると知りました。打ち心地、試してみたいですね。(張)



### ・黒電話

皆さんはこの電話の使い方は分かりますか?若い世代になると知らない人もいます。実物を見て、かけ方を試してみてもいいのではないでしょうか。(泉本)



### ・柳行李カバン

柳の枝で作ったカバンを初めて見ました。見た目は重たくて、硬い印象でしたが、実際は案外軽くて、柔らかいです。(張)



### ・ピンホールカメラ

このニコニコしている謎の箱は何でしょう?レンズが2つで、後ろには何もありません。撮り方を調べてみると面白いかも!?(泉本)



・フィルムカメラ この道具は見ての通りフィルムカメラです。現在ではあまり見ることがないですが、実物はとてもかっこいいです。(泉本)

## "教育コラボレーション演習"のふりかえり

### ◎河内木綿体験 (毎月第1土曜日に開催)

今回の演習で河内木綿に関することを初めて知りました。河内木綿の活動では「綿繰り」、「糸つむぎ」などをいろいろ体験してとても面白かったです。博物館で展示物を見ながら説明文を読むより、自分で綿から布になるまでを試みるほうが印象深いと思います。



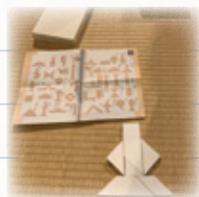
「綿繰り」体験の様子

河内木綿を作るプロセスでは専用の道具があって、綿の種をとる「綿繰り機」、糸を作る「糸車」などを分けられたそうです。それも昔の人々の知恵ではないかと思っています。大変貴重な体験ができたので、皆さんもし興味があればぜひ参加してみてください。

(張宇楠)

### ◎昔遊びの日 (毎月第3日曜日に開催)

今回、実習の中で「昔遊びの日」という活動を体験しました。子どもたちと一緒にけん玉とかおはじきとかいろんな昔遊びをして、とても楽しかったです。留学生として日本の昔遊びはよく知りませんでしたが、皆さんと遊んでいるうちに、規則を理解するにつれて、面白さも感じてきました。左の図はパズルゲームで、試みると想像以上に難しいです。右は初めてお手玉を作った時の写真で、完成するまでは自分でできるのが信じられません。本当にいい思い出になりました。(王曉彤)



### ◎日常ではできない体験

今回、私は日常生活ではできないようなことをたくさん体験させていただきました。河内木綿体験、昔遊びなど、ここに来なければおそらくこれから先もやることはなかったと思います。タイムスリップしたみたいで本当に楽しくて貴重な体験ばかりでした。かまどの焚き付け研修に参加した際には、かまどに火をつけるその過程についてたくさんの発見がありました。皆さんも来て、たくさんの発見をしていただきたいと思います。本当にありがとうございました。(泉本陽菜)



マッチを擦って焚き付け

解説不要で、見て涼む…

安中新田会所跡

夏季企画展

旧植田家住宅

# 夏の扇

## ナツノオウギ



2020年7月23日(祝)～9月13日(日)

### 主な展示品

- ・掛軸(扇面図、蛭美人図、団扇図)
- ・扇子(白檀、書画、舞扇子ほか)
- ・団扇(絵入り団扇、竹団扇、渋団扇など)
- ・扇風機(大正時代) その他 美術工芸品

扇子から扇風機まで。

### 夏の扇 ナツノオウギ

夏季企画展

新型コロナウイルス第2波が到来する中、文化の灯を絶やさぬ思いで夏季企画展「夏の扇 ナツノオウギ」を開催。来館してほしい願いと、感染拡大防止のため不要不急の外出は控えてほしいという考えが交錯した結果、展示には一切解説を付けず、スピーディーに見て楽しめる涼しい「扇」を取り上げた。

旧植田家住宅にはとにかたく皆さんの扇子がある。勿論一人の人が使用していたのではなく、その内容は多岐にわたり、代々植田家の人たちによって使われたものと考えられる。また「扇」という意匠もあらゆる場面で用いられ、文様や形そのものを用いた美術工芸品もある。扇は進化の過程を経て、現代の私たちの生活の中にもみることが出来る。「不要なもの」の例えに「秋の扇」あるいは「夏炉冬扇」という言葉がある。タイトルの「夏の扇」には、必要でありたいという想いも込められている…といった解説なしで、夏季企画展は終了した。

(学芸員 安藤亮)



# 四会所だより (26)



## 「深野池新田開発関連文化財群」の 保存・活用に向けて

今から10年前の平成22年(2010)、大東市は、千石蔵・道具蔵・船着場の遺構が残る平野屋新田会所跡の北西部476㎡を公有化しました。その後、大東市教育委員会は、会所跡の活用方針に市民の声を反映するため、平成26年(2014)に平野屋新田会所市民サポーター会議を結成し、市民サポーターの皆さんとともに会所跡や周辺の文化財の魅力を紹介する見学会、展示、シンポジウムなどに取り組みを進めました。こうした地道な活動の積み重ねによって、平成31年(2019)には、「平野屋新田会所 千石蔵跡・道具蔵跡・船着場跡」を大東市指定史跡とすることができました。

市史跡指定にあたって、大東市教育委員会は、会所跡と周辺に残る水路や樋門、

会所で伝わった古文書や民具など、深野池の新田開発に関連した様々な文化財Ⅱ「深野池新田開発関連文化財群」を一体的に保存・活用していくという方針を打ち出しました。「関連文化財群」とは、近年の文化財保護法改正の動きの中で新しく生まれた考え方で、地域の多種多様な文化財を歴史文化の特徴に基づくテーマやストーリーに沿って一定のまとまりとして捉えようとするものです。まとまりを持って扱うことで、指定文化財だけでなく未指定の文化財についても構成要素として位置づけることが可能となり、相互に結びついた文化財の多面的な価値や魅力を発見することが可能となります。

このような方針のもと、今年度からは、有識者、地域住民、大学生、市民サポーターと市の関係部局が参加する会議を立ち上げ、「深野池新田開発関連文化財群」の保存・活用方法の本格的な検討に着手することになりました。ここに至るまで長い時間がかかってしまいましたが、貴重な歴史遺産を未来につないでいくため

のスタート地点によりやく立つことができました。

そして来年度は、享保6年(1721)に大坂の両替商・平野屋又右衛門が深野南新田(大東市平野屋・谷川・南新田地区)と河内屋南新田(東大阪市元町地区)の所有権を得てから300年の節目を迎えるのを記念し、「平野屋新田300年事業」を盛り上げていきたいと考えています。

今後も、大東市の「深野池新田開発関連文化財群を活かしたまちづくり」に注目していただければ幸いです。

(大東市教育委員会 佐々木 拓哉)



船着場の階段  
(地中に保存)



千石蔵の遺構

雑記帳  
**日植田家住宅**  
 - 日常から日用まで -

第3日：去年の今頃は…



Kamado boom



【事業計画の再確認】

日々の指定管理業務は、年間計画に基づいて行なっています。未だ収束・終息がみえない新型コロナによって令和2年度は中止となった事業がたくさんありました。昨年度の事業を確認していると、あっという間に次年度の事業計画を出さなければならない時期がやって来ました。

そこで去年の今頃(9月～12月)は何をしていたのかを振り返ってみました。

【かまどが大活躍】

今年はいろんな意味で「かまど」が世間で大活躍していますが、日植田家住宅では例年かまどを使ったイベントが9月から12月にかけて集中していました。

- ・ 防災かまどでご飯炊き体験(9月)
- ・ かまどで月見団子づくり、観月会
- ・ 旧家で食事会(11月)
- ・ おもちつき大会(12月)
- ・ その他、畑企画でのご飯炊きなど



旧家で食事会のかまど飯(11月)



防災かまどでご飯炊き(9月)



おもちつき大会(12月)



かまどで月見団子づくり(9月)

かまどはさておき、他にもコンサートや蓄音機の活用、昔のくらし体験、地域連携では地元八尾高校とのコラボで書道展や夏のお茶会、新年にはこどものためのお茶会の開催も行なっていました。

ちなみに、今年度も残すところあと僅かとなりましたが、年度末の3月までに中止となったイベントは次の通りです。

〈今年度中止のイベント〉

- ・ 蓄音機で回想法(11月)
- ・ うえまつ劇場(新)
- ・ 旧家でコンサート
- ・ 旧家で食事会
- ・ こども昔くらし体験(12月)
- ・ おもちつき大会
- ・ こどものためのお茶会(1月)
- ・ 旧家で落語の会(2月)
- ・ 講座3「古民家・重文民家の話」

見ると楽しそうなイベントばかりです。来年コロナが落ち着けば再チャレンジしたいと思います。特に「おもちつき」は必ずや。

関西文化の日 11/14-15

旧植田家住宅の灯籠に灯りが灯る (夜間開館)  
とうろう ひ

# 植松灯籠の日

KANSAI NIGHT MUSEUM

2020年 11月14日(土) 17時~20時30分



影絵が映る主屋



灯籠にあかりが灯る庭



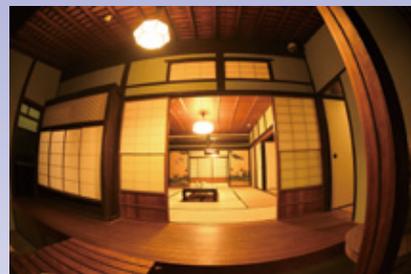
(スタッフ)

観に来ていただければ幸いです。

関西文化の日11.14  
「植松灯籠の日」と影絵

旧植田家住宅では毎年11月に「植松灯籠の日」を開催し、この日だけは夜間見学ができます。また関西の主な博物館などが無料で観られる「関西文化の日」にあわせて、今年は「KANSAI NIGHT MUSEUM」にも参加。コロナ禍にあって、たくさんの方の来場者はありませんでしたが、少しでも心安らぐひと時が過ごせたのではないのでしょうか。

そんな中、「植松灯籠の日」のもうひとつのお楽しみでもある影絵は、今年は二階の部屋の入室制限のため、中は見る事ができませんでしたが、これまでとは少し違った作品となりました。当日ご覧になった方も見られなかった方も、ここで写真とその裏側を少し公開します(ホームページの「植ブログ」にも掲載)。ぜひ来年は、(コロナが収まれば)生で観に来ていただければ幸いです。



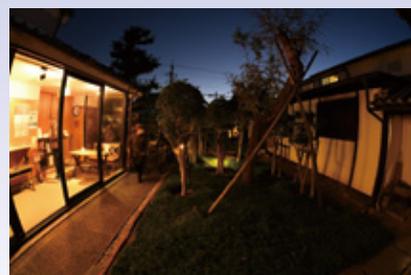
庭からみる座敷1

## オリジナル影絵「日本の伝統文様と花札」



とこの裏側

「植松灯籠の日」開始1時間前。学生たちによる展示風景。実はダンボール紙…。



ギャラリー横の庭

# マンジューくん

安富士 暁



## 植ちよぴ。(ックス)

「植田家住宅の・ちようどいい・トピックス」

### ◆終了したイベント◆

・「航空写真に見る八尾」施設周辺」

≪2020年10月24日(土)～12月25日(金)≫

新型コロナウイルスの感染拡大とともに外出する機会が減った今秋、旧植田家住宅のギャラリーでは、展示室で開催中の特別・企画展と一部リンクする形でミニ展示「再発見！航空写真に見る八尾」を開催した。ミニ展示では、施設周辺(植松・安中・龍華)の昭和二十三年から平成十九年までのまちの様子を航空写真でふり返り、今回はさらに同じ場所の高低差を地形模型で立体的に表わしたパネル(制作:まち研)。



「植田家だより」45号を参照)も併せて展示した。同パネル展はいつも同じ航空写真を用いるが、毎回発見することも多くあり、今回はこのコロナ禍にあつて移動することなく、物理的な距離はもちろん、過去に遡って歴史的な距離を感じる事ができた。この機会にぜひみなさんも「時空まちあるき」を試みては。

### ・「旧家で記念撮影」七五三」

≪2020年11月1日(日)～11月29日(日)≫

入館者数が激減する中、今年も前撮りを含めて複数の家族が来館し、記念撮影を楽しんだ。また「七五三くじ」も好評で、当たりくじよりも笑顔がたくさん出た。

.....

### ◆告知◆

### ・「ギャラリー展示2020」

≪2021年1月6日(水)～1月31日(日)≫

テーマは「新旧大和川と新田会所周辺の風景」。2020年に募集した写生作品を展示。

### ・「旧家で記念撮影」新年・成人の日」

≪2021年1月6日(水)～1月31日(日)≫

新年は旧植田家住宅で記念撮影。新成人は入館無料(身分証の提示を求める場合があります)。

## 落穂拾い

## | 今東光の薰風 | (四十)

文・伊東健

三島由紀夫没後五十年になる二〇二〇年はさまざまな回顧展やイベントが予定されていました。今東光と三島由紀夫のつながりで思い出されるのは、東光作品「稚児」と三島作品「禁色」についてです。

「禁色」に次のような描写があります。

「稚児が宴会の上席を占め、主君の盃を真先にいただいたこの時代の、面白い秘本の写しがあるんだ」——俊輔は手もとの棚から薄い和綴の写本をとりあげて悠一に示した。「叡山文庫のなかにある奴を、人にたのんで写してもらったんだがね」

悠一は表紙の「児灌頂」という字を読みかねて老作家にたずねた。

「ち・ご・かんじょう」と読みます。この一冊が児灌頂の部分と弘児聖教秘伝の部分に分れているが、(以下略)

(引用：「禁色」昭和三十九(一九六四)年四月三十日発行

新潮文庫より)

東光は三島没後の昭和四十八年に自身の代表作選集に「稚児」を収録する際、跋文後記として以下の文章を付け加えています。

ところで三島由紀夫君が彼の作中にこの「弘児聖教秘伝」を見て書いたように述べているそうだ。僕はその作品を知らない。と言うのは右の写本は比叡山文庫の秘庫に蔵せられ門外不出の秘本なので、天台宗の僧侶と雖もかりそめには披閲することが出来ないほどなのに、況や俗人の三島君が該写本を見ることなど不可能なのだ。これは明らかに拙作を引用したのは疑いもないことなのだ。その後、三島君に会った時、彼は僕に謝りを述べ引用させてもらったことを明記すべきなのに、×切日が迫って書いて書き落したが、書物になる時に挿入しますと言いなからそのままになって仕舞ったらしい。僕は別に苦情を言ってるのではなく若し三島由紀夫全集を読む人が、本当に三島君がこの珍書を披見したと誤解しては後世を誤るので一言附記して置く方が親切だと考えたからだ。(以下略) (今東光代表作選集第五巻

所収より昭和四十八(一九七三年)六月十日、読売新聞社発行)

昭和二十一年に東光が「稚児」を定本として上梓した時には、谷崎潤一郎が序文を書いて絶賛しました。作品発表にあたっての東光の覚悟も冒頭に記された緒言から伝わってきます。

それにしても天台宗内に於ても知る人の稀有な該書は、況や一般人の知るところではなく、既に知られる如く「恵心僧都全集」にしても、「天台書籍綜合目録」にしても、内容を発表したものではないので、即ち私の一部分の発表とはいえ是を以て天下始めての公表と言つことが出来るのである。

(引用：前掲書)

三島由紀夫がどうしても引用したくなった東光作品「稚児」には何が描かれているのか。ぜひともこの機会にご一読ください。



# 植田家住宅のご案内

【2021年1月～4月】

## これからの展示・イベント

毎月第1土曜日は「河内木綿体験(5組限定)」  
 // 第3日曜日は「むかし遊びの日」を開催!

### 展示

2021年

◎1月6日(水)～3月15日(月)  
 冬季企画展「昔のくらしはエコなくらし」  
 ・1/6(水)～1/31(日) 同時開催「ギャラリー展示」

◎3月19日(金)～4月25日(日)  
 通常展「大和川付替えと植田家の収蔵品  
 ～工芸品編～」

展示、イベント等のお知らせは  
 ホームページもご覧ください  
<http://kyu-uedakejutaku.jp/>



### イベント

(詳しくはお問い合わせください)

- 1月 (中止)こどものためのお茶会  
 ★1/6(水)～1/31(日) 旧家で記念撮影～新年・成人の日～  
 ★1/9(土)～3/1(月) 旧家で暖家(あったか)支援・縮小版
- 2月 (中止)落語の会  
 14日(日) 石臼珈琲体験(旧家で暖家支援)  
 ★2/20(土)～3/21(日) 旧家で記念撮影～ひなまつり～
- 3月 6日(土) 今昔遊び体験「手習い所」
- 4月 未定

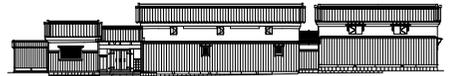
コロナ対策(マスク着用・3密回避・人数制限など)実施につき、  
 ご協力よろしくをお願いします。

※予定は変更となる場合があります。



## 休館日カレンダー

■ = 休館日



2021/ 1 January

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2 February

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3 March

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

4 April (未定)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

### 【交通案内】



- ◇JR大和路線「八尾」駅下車、南出口より東へ徒歩約3分
- ◇近鉄大阪線「近鉄八尾」駅から近鉄バス藤井寺駅前行  
 JR八尾駅前バス停下車、南東へ徒歩約5分
- ※当施設には駐車場はありません。車での来館はご遠慮ください。

- 開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日：火曜日・祝日の翌日・年末年始  
 (詳しくは休館日カレンダーをご覧ください)
- 入館料：一般250円(団体20人以上で120円)  
 高校・大学生120円(団体60円)  
 ※中学生以下、身体障害者手帳等の所持者および介助者は無料
- お問い合わせ・見学のご相談(ご予約)  
 〒581-0084 大阪府八尾市植松町1-1-25  
 TEL/FAX: 072-992-5311  
 E-mail: info@kyu-uedakejutaku.jp

### #編集日記

昨夕、新たに大阪府では「医療非常事態宣言」の延長が決まり(当初は12月15日まで)、今月29日まで大阪市内の飲食店の時短要請や大阪府民の不要不急の外出自粛が強く求められました。日々のコロナ感染者数の増加とともに入館者数も自然と減少していることから、こうした呼びかけ以前から行動の自粛が行われていることが分かります。それでもやはり感染が止まらないのは「不徳の致すところなのでしょいか。ああ寒い。」

# 本当の幸せって？ 本当の豊かさとは？

モノや情報があふれ、それを大量に消費する社会。  
人々の価値観は変わり続け、本当に大切なものは・・・

そのような中、人々の考え方は「利己から利他へ」「古き良きものを見つめ直す」のように、  
人とのつながり、過去と未来のつながり、社会とのつながりを求めるよう  
変化してきているのではないのでしょうか？

私たち、株式会社シーズクリエイトは情報を提供する立場にあります。  
その情報を活かし、地域のヒト・コト・モノとネットワークを築き、  
そのつなぎ役を担うことで新たなコミュニティを創造し、  
地域経済を活性化させたいと思っています。

